

授業デザイン FIRST STEP Vol.1 ―「問いや計画などを共有する」編―

1 生徒と「問いや計画などを共有する」目的は？

生徒一人一人が、問いの追究や解決へ向けて、目的意識や学習の進め方の見通しをもち、主体的に深く学ぶためです。



問いや計画など…単元を貫く問いや単元の学習計画（単元で身に付けたい資質・能力、単元の学習の流れ、めあて・小単元の問い・各次の問い等）、評価の計画（評価場面、評価方法等）、評価の結果を指しています。

特に、各生徒が次の機会をもつことができるよう、留意しましょう。



- ① 問いの追究や解決のために必要なことを考える機会
- ② めあてを立てる機会
- ③ 達成状況等を自己評価したり教師や他の生徒等による評価を得たりする機会

佐賀県教育委員会『授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.1』、国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（以下『参考資料』）等を基に作成

2 生徒と「問いや計画などを共有する」際に、教師が指導上留意すること【具体例】

【単元の導入】
問いの追究や解決のために必要なことを考える機会を設けます。

①



単元を貫く問いに対する答えを予想したり問いの追究や解決に役立ちそうな既習事項を考えたりしましょう。

【毎時の導入】
めあてを立てる機会を設けます。

②



本事例では、教師が各次の問いを提示しています。この場合、以下の手順で、めあてを立てるように促しましょう。

- i 各次の問いの追究や解決のために、「本時で明らかにしたいこと」を考える。
- ii 「本時で明らかにしたいこと」を基に、めあてを立てる。

立てためあては、ノートや1人1台端末に記入するように促しましょう。

【振り返り】
達成状況等を自己評価したり教師や他の生徒等による評価を得たりする機会を設けます。

③



学習を振り返って気付いたことと、単元を貫く問いとの関連を考えるように促しましょう。また、「指導に生かす評価」の結果を伝え、生徒が自身のよい点や改善点に気付くことができるようにしましょう。

以下に示す『参考資料』の「単元振り返りシート」を活用した例を見てみましょう。

単元を貫く問い 社会をよりよいものにするために、最終的に決定する権力をもっている私たちはどのように政治に関わるのがよいだろうか。	
単元の導入 社会を担う主権者となるために	「単元を貫く問い」に対する答えの予想
「単元を貫く問い」を読んで生まれた疑問 問いの解決のために役立ちそうな既習事項	
1 社会の課題を解決するために	学習を振り返って気付いたこと
まとめ なぜ議会を通じて政治が行われるのか。議会制民主主義がうまく機能するために大切なことは何か。 問いは予め書かず、記入させる際に教師が提示する。 知 A・B・C	授業者が評価を記入する。
2 社会の課題に国全体で取り組むには～食品ロスを例に～	学習を振り返って気付いたこと
まとめ 国会、内閣はそれぞれどのような役割を担っているのか。また、どのような関係にあるか。 ② 知 A・B・C	学習者が学習を通して気付いた点や以降の学習への見通しを記入する。授業者は記述などから学習の改善に向けた助言を行う。
3 公正な裁判の保障は人々の人権を守ることになるのか	学習を振り返って気付いたこと
まとめ なぜ裁判は法に基づいて行われるのか。私たちの人権を守ることとの関係を説明してみよう。 知 A・B・C	
4 社会の課題を私たちの力で解決していくために	学習を振り返って気付いたこと
まとめ なぜ地方公共団体の政治は国と異なるのか。 知 A・B・C ③	
単元のまとめ 主権者として社会に参画するためには	
① これまでの学習を生かして「単元を貫く問い」の答えを論述しよう。その際、「対立と合意」、「効率と公正」、「個人の尊重と法の支配」、「民主主義」などに着目してみよう。	
② 単元の学習を振り返り、これからも問い続けて（考え続けて）いきたいこと、問い続けたい理由（解決によって社会をどのようにしていきたいのか）を書こう。	